



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 2 6

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashore@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「このちのちを見つめよう

博愛を広げるために」

(カルヤン・バネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 6 0 4 回例会

平成 2 4 年 1 月 1 8 日(水)

南砺市井波総合文化センターエイトホール

1. 点 鐘 会長
2. ソング 「四つのテスト」



3. ゲスト卓話：吉田彦夫氏（高岡 RC）「北陸新幹線・新高岡駅の価値」紹介者：横山豊介会員
4. ビジター：西川雄策君（南砺 RC）
5. **会長の時間**：今年は寒い日が続くなあとと思っていたら、わかったことが二つ。一つは平年より気温が低いこと、もう一つは、昨年より自分が一つ年をとったことです。ところで、今日は大変いい天気で気温も 10℃を超えたとか、この時期、こちらが雪が降れば、関東は快晴。娘は雪が嫌で、関東に住みつきました。こちらが大雪で除雪に疲れた時、娘の所では、暑いくらいの日で布団を干して、あったかい布団で休めるといい

ます。冬は関東に負けるとして、春は、こちらは草木が新芽を吹き、花々がきれいだし、夏は暑くて冷房なしでおられない関東より、夜戸を開けて休めるくらい涼しいこちらがよいし、秋は紅葉がきれいでやはりこちらがいいので、1 年通せば 3 勝 1 敗くらいで関東より富山がいいですね。

6. 幹事報告：①3 クラブ合同例会・懇親会の案内。2 月 27 日（月）例会 18：00、懇親会 18：30。砺波ロイヤルホテル。会費 15000 円、会でみます。バスの手配もします。②ハイライトよねやま：今月の寄付金傾向（各テーブル配布）。③BS-JAPAN で、20 日午後 8：00～9：00、「日本原風景紀行」という番組で、井波が放送されます。ご覧ください。
7. 委員会報告：①出席委員会：本日 17 名出席（85.00%）②国際奉仕委員会（山本）：先週もお話しましたが、地区から RI の重点項目でもある「識字率の向上」「水保全問題」等の事業に活用するため、書き損じの募金活動を行うと案内がありました。2 月一杯の期間で、一人 200 円を目安に送金してほしいとのお願いです。
8. **ニコニコBOX**（本日 5 名、10000 円）

高瀬会長：本日は良い天気です。吉田様卓話をよろしくお願ひします。早退失礼します。

水島会員：作品を薬品につけてきました。早退お詫びします。

山本会員：先週人間ドッグにいつてきました。吉田様卓話をよろしくお願ひします。西川様先日はひょんな所でお会

いしましたね。

助田会員：高岡 RC 吉田様、本日は卓話をよろしくお願い致します。

吉田氏（高岡 RC）：【後程、謝礼をニコニコ BOX へ寄付されました。】…代わりに横山豊介会員から、記念に色紙が手渡されました。



卓話「北陸新幹線・新高岡駅の価値」 —中部縦断ルートの確立へ—

吉田彦夫氏（高岡 RC）

横山豊介会員（紹介者）：今日の卓話の吉田さんは、砺波中学の同級生です。高岡 RC 会員で、私よりロータリー歴が長いです。富山新聞高岡支社長を最後に退職されました。戸出の出身で、綿貫さんともつながりの深い方です。

吉田彦夫氏：富山新聞時代に、瑞龍寺を国宝にすべく努力をしました。瑞龍寺保存会の会長を沖外夫氏の後、砺波中学 2 年先輩の綿貫民輔氏にお願いして受けてもらいました。その後、瑞龍寺に続いて、瑞泉寺山門や、伏木の勝興寺など県内の寺院再建のきっかけをいろいろ苦勞して見つけました。

北陸新幹線、新高岡駅をどう活かす

はじめに

待望久しい北陸新幹線・金沢—東京間が 26 年度に開通する。岩川毅氏が提案してから 50 年以上も経過した。裏日本の悲哀そのものである。当時は東海地震に備えてのバイパス線として建設が急がれた。しかし、神戸淡路大震災、そして東日本大震災を経て初めてその価値が認められ、敦賀延長まで決まった。政治怠慢の極みである。

平清盛の夢は大阪湾から琵琶湖を経て敦賀に出る水路の建設、太平洋と日本海を繋ぐ壮大な夢であったが、難しいと判断して福原遷都（神戸）に切り替え、大陸交易の拡大を目指した。

この夢を実現したいと「東海北陸自動車道」の夢を抱いて努力したのが綿貫民輔氏です。平清盛の夢実現こそわたぬきの最大の願いでした。北陸新幹線の新高岡駅の課題も明確で飛越能地区の核として整備し、名古屋—能登の中部縦断ルートを確立する核を創ることに尽きます。

新高岡駅（仮称）の価値は高い

新幹線を東西ルートとして、南北ルートは東海北陸自動車道と能越自動車道で結ぶ、能登—氷見—高岡—砺波—南砺—飛騨—高山—郡上八幡—岐阜—名古屋—知多半島で構成され、そのカナメが北陸新幹線・新高岡駅と東海道新幹線・名古屋駅になります。

日本の真ん中を貫くので、東京、関西のエネルギーを吸収し、しかもアジア大陸、太平洋を繋ぎ、世界のエネルギーをも吸収出来て、世界文明の十字路として栄える価値を備えることになります。

中部国際空港—小松空港—能登空港（小松、富山も含み）の空のライン。伏木富山港—名古屋港の海のラインが繋がり、まさに「陸海空 3 本の矢」が太いルートを構成した訳です。後は住む人の英知がこの条件をどう最大限に活かすかにかかっています。大きい夢に挑戦する勇気が湧いてきます。

新高岡駅—飛越能の中核として—

駅舎は飛越能の歴史の継承を考え、高岡銅器や合掌造をイメージする色彩で。また駅舎階下に南北通路を作り旧市街地と連結による市街化をすすめる。

立山や五箇山を遠望できる南側広場を十分に確保、800

台を収容できる駐車場整備、用水を利用したの親水公園の設置することなどが計画されている。

城端線の新駅を併設して高岡駅との連携をはかり、氷見線との連絡も効率化する。城端、氷見線の直通化も将来の課題となる。

JR 高岡駅の全面改良―新幹線開業に備えて―

すでに橋上駅の姿が出来、今後 新ステーションビルの建設、北口広場の大改修工事が今年から開始される。北口広場は現在の 1.2 倍に拡大され、「万葉線」を 130m 延長して、ステーションビル 1 階に乗降場をもうけ、JR 各線に近接する。

またステーションビルの 2 階部分に人口デッキを建設して、橋上駅南北通路「万葉ロード」と接続、市営駐車場とウィングウィングビルと接続している高架橋とも接続して、上から駅前広場を眺めることになる。広場の工事は今月末から開始、すべての工事は平成 26 年には完了、新幹線開通に伴う波及効果を極力吸収できるように考えている。新しい北口はバスとタクシーの乗降場を東側に、一般車両は西側に配置される。

【参考までに】

富山駅（市電とライトレールの接続）

県内では JR 現駅と併設される唯一の駅舎。構内から立山が望める構成を考え、立山杉の林立を外壁でイメージしている。南北通路もとるだけでなく、富山ライトレールと市電を繋いで県都の交通網の核にするのが特色。駅には、北口、南口、更に西口をもうけ市街地の拡大と利便性を持たせている。

新黒部駅（黒部の自然を意識して）

JR 黒部駅から東に 4 km で周囲の森と水に溶け込む「見えない駅、魅せる駅」をコンセプトにして黒部の自然を緩やかな曲線でまとめる。朝市やイベントの出来る交流広場、水環境をそのまま見立てたミュージアムを配置、500 台の駐車場、地铁本線の新駅を作り新川全体へのアプローチを語る。

日本の風土、歴史を凝縮した価値を認識し、世界に伝えよう

このルートは日本の素晴らしい自然（山、川、海）、悠久の歴史に育まれた人間の営みが色濃く残されているル

ートで価値が高い。常滑、瀬戸、美濃の陶器、合掌造の住まい、郡上八幡、五箇山の民謡と踊り、中世文化を残す高山、木を活かす文化（瑞龍寺はじめ、井波木彫）、氷見、能登の海の幸、これらの蓄積で生きる高い技術水準と先端産業（自動車、薬、アルミ産業、新しい漁法）、水のエネルギーを活かす技術、いずれも世界の将来にとって必要な課題が山積している文明の宝庫でもあるわけです。

富山県は「幸福度日本一」の県

PHP 研究所が発表した「幸せな県民」＝法政大学大学院教授坂本光司氏のまとめ＝では、富山県は「生活・家族部門」「安心・安全部門」「労働・企業部門」「医療・健康部門」の全てが最上位で、しかもバランスがとれている県に指定されている。後はこの資質を積極的に活かして「幸福度」をいかに高めるかにかかっている。幸福度は金銭でなく人生の幸せの想いと仕組みです。



……茶字は抄録原稿（敬体・常体は原稿通り）、黒字は卓話で追加されたものです。

吉田様、資料を提供有難うございました。